

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川太田川水系滝脇川 通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Bbr. No. 1		調査位置	広島県山県郡北広島町阿坂地内			北緯	34° 37' 47.8198"					
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所				調査期間	2023年 9月 13日 ~ 2023年 9月 14日		東経	132° 27' 5.2787"				
調査業者名				主任技師			現場代理人			コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP	351.27m	角	180° 上下	90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	32°	使用機種	東邦D-0	
総削孔長	10.00m		度	0°		エンジン	ヤンマー		ポンプ	東邦BG-3C			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取	室原位置試験	削孔月日						
												深度-N値図		N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試験採取番号	試験方法	
	350.77	0.50	シルト混じり砂			黒~灰緑			新生代第四紀	表土0.1mまで腐葉土、Cl-0.2mまで木根混入。シルトを含む細砂主体。	09.14 3.45	1.15	2	2	3	7	300									
1				花崗岩強風化土		褐灰			中生代白亜紀	花崗岩の強風化土 (砂質土)。棒状コア主体。軽い指圧で土砂状に崩せる。風化により一部粘土化。II級		1.45	5	5	6	16	300									
2												2.15	4	5	8	17	300									
3												3.15	4	5	8	17	300									
4												3.45	4	5	6	15	300									
5												4.15	4	5	6	15	300									
6	345.27	6.00		花崗岩強風化土		灰白				花崗岩の強風化土 (砂質土)。棒状コア。Cl-0.45~0.8mまで破砕帯が低角度に分布する。粘土化が著しく、指圧で容易にへこむ程度の硬さ。II級		4.45	8	9	11	28	300									
7	344.27	7.00										5.15	5	10	19	34	300									
8				強風化花崗岩		灰白				強風化の花崗岩 (軟岩 I)。コア長10~30cm程度の短柱状コアからなる。強風化を受けているが、岩芯は残る。強い指圧で崩せず、ハンマー軽打で割れる。コア崩はガラガラしている。ハンマー打診で濁音を発す。II級		6.15	15	20	15	50	270	270								
9												7.42	29	21	60	50	160									
10	341.27	10.00										8.10	50	70	50	70	70									
11												8.28	50	70	50	70	70									
												9.00	50	70	50	70	70									
												9.04	50	70	50	70	70									
												10.00	50	70	50	70	70									
												10.04	40	40	40	40	40									